



太刀掛 隼則 議員

市職員を消防団へ

答 検討課題である

太刀掛 「地方公共団体による消防団への入団促進について」は、消防庁より各都道府県に通知されている。消防団の活性化のためにも、市長が方向を示し入団を呼びかけては、なお、女性団員も増員を。

市長 地域の高齢化や過疎化が進むなかで、平日昼間の発生した災害に対応する団員の確保が困難であるなど、課題もある。平成18年度に消防団活性化検討委員会を設け一定の方向性を議論し、小規模な分団の統合・組織の強化を図り、定年制を導入します。平成19・20年度には実施施策をまとめ、平成21年度には制度改正を予定しています。

助役 市職員が団員になることは当面、団員の確保状況を見ながら、検討課題としたい。

市長 女性団員の入団促進と併せて自主防災組織の設定など災害対応能力の向上に取り組みたい。

学校給食を民間へ
太刀掛 ごみの収集は直営(官)の46%、学校給食



▲江田島市消防団(消防出初式)

食は55%で運営出来ると、地方自治経営学会から発表されている。費用は約半分であり民間委託に踏み切るべきであります。

市長 民間委託の件は基本的に、効率のよい運営を図るべきであると、常に模索しています。

教育長 民間委託については、各施設の委託業務内容を精査・整理し、よ

り効率を図るため平成18年度では給食運搬業務の委託を全施設で統一した。今後とも安全で安心な学校給食を基本に、施設の統廃合を踏まえながら調理・施設管理業務等については、行財政改革実施計画に則り平成21年度の実施を目的に検討していく予定です。

傍聴

感想文

私はこの度、初めて傍聴に訪れた。

定刻通りに、一般質問が開始されたが、そこでまず思ったことは、傍聴する人が余りにも少ないということだ。私は、一日目の一般質問に訪れないが、傍聴したのかわからないが、もともと多くの人に足を運んでもらいたい。家にいる主婦の方、春休み中の学生など、幅広く多くの市民に、自分た

ちの市政に関心を寄せて欲しい。

私は、この島が大好きだ。ここには守りたいもの、大切な人たちがたくさんいる。厳しい市政だというのは重々承知。けれどその内情をどれ程の人が知り、関心を向けているのか。たかが傍聴、されど傍聴。この愛着あるふるさとにもっと目を向けてほしい。(能美町在住女性)

議会広報

特別委員会から

今定例会の傍聴者は4日間で26人おられました。傍聴者から江田島市の将来展望を心配される気持ちに答えるべく、我々議

員は本市発展のため議会活動に邁進してまいります。ありがとうございます。



答 状況を見て実施

生活道等の改修要望の対応は

前田 鎮夫 議員

前田 行政サービスの後退、負担の増など市民は行財政改革の痛みをかなり堪えていると感じる。住宅地域周辺の生活道路も傷んだ箇所もあちこちで見受けられ、水路や溝は割れたり、詰まるなど整備不十分な場所もあり、危険と感じる箇所も見受けられます。

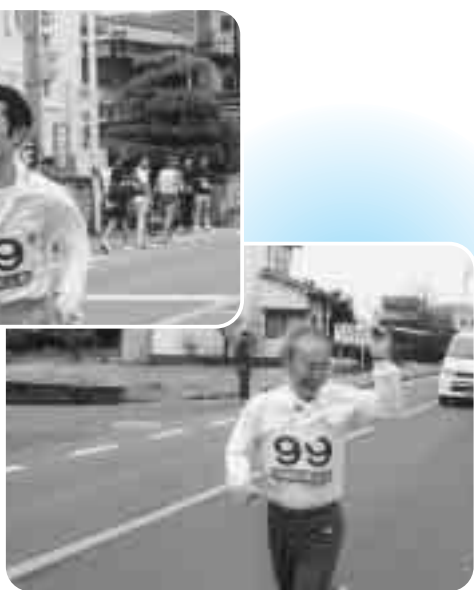
身辺の小規模な公共施設はその地域に住む人達にとっては生活に直結する施設で、補修改善は強く望んでいます。補修改善要望への対応はどのようになっていますか。

期等も検討しながら、18年度は250箇所4900万円で実施しました。
前田 平成19年度補修事業予算は大幅に減額になっています。補修については手法も検討するののか。
土木建築部長 公共施設の管理については、現地状況を見て、例えば自治会などで請けられないか

モデル的に実施することも考えていきます。
生活環境の改善を
前田 集落地域の町なかでは、小売店の閉店が続き、まさにシャッター通り街も少なくない現状であります。公共交通の不便さなどもあって高齢化率の高い



▲傷んだ生活道路



▲江田島市駅伝大会

市議駅伝大会で初出場!!

市議会では選手有志を募り、2月18日に開催された第30回江田島市駅伝大会に「いのしし君」の愛称名で初出場しました。トップチームと30分以上の時間差が過ぎましたが、7区間を一人も棄権することなく完走しまし

た。後続にバトカーを従えて走ったので、根性で走りぬきました。大会後の反省会では、一つ上を目指して来年も出場することと盛り上がりました。ライバルの出場を待っています。